

# 安全・安心まちづくり

津山誠心会議

田口慎一郎



質問↓安全・安心なまちづくりにあたりソフト政策の計画はあるか。  
答弁↓二十一年施行を目標に、犯罪のない安全・安心まちづくりのための、基本理念を定める条例

づくりに取り組んでいる。

質問↓地域の特性を活かした食の推進策は。

答弁↓給食への食材提供をはじめに地産地消を推進する。生産履歴のある高品質な農産物の生産振興を図る。消費者要望を視野に入れ取り組む。

質問↓幼老統合ケアの高齢者と幼児に対する交流策の効果と状況は。

答弁↓幼児の成長面と高齢者の福祉の側面とも期待できるが、法的には未整備な取り組みであり研究していく。幼老の交流事業は更に拡大したい。

# 「ノーテレビデー・ノーゲームデー」

公明党津山市議団

川端恵美子



質問↓全国学力調査の結果、テレビやビデオ、DVDを一日に三時間以上視聴している子どもは、小学校で四十五・八%、中学校は三十八・八%になり、テレビっ子が急増している。テレビ等

の視聴時間は正答率との相関関係があり、テレビを見る時間が短い生徒の正答率が高い傾向にある。一日に三十分以上読書する割合は昨年比べて二・五ポイント下がって二七・八・九%となっている。津山市の子ども達の状況は。また、適切な指導にどう取り組むのか。

答弁↓テレビ等の視聴は市内の小学生が五十一・八%、中学生が四十四・一%で全国平均に比べ五ポイント程度高い。家庭での学習時間や家族とのふれあい時間を大切にするためにも「ノーテレビデー・ノーゲームデー」の実施に向けた取り組みを推進したい。

# 緑提灯の推進

みどりの会

川崎 修



目が緑提灯に  
で量用お  
ス使う緑  
ーペーの  
ーベの超  
リ材を  
ー食を  
回産を  
カ本50%飾

質問↓安全安心の農産物の認定制度と認証マークへ取り組み考えは。

答弁↓全国展開されている緑提灯等を積極的に利用し、できるだけ早く独自の基準認定に向け協議検討していく。

質問↓食堂等の食事メニューにカロリーと自給率の表示をする取り組みを。

答弁↓身近な施設等から取り組む。

質問↓小中学校の不登校の実態は。

答弁↓小中学校は全国〇・三三%、津山市は〇・七八%、中学校は全国二・九一%、津山市は三・三四%である。

質問↓児童生徒の食育を中心とした基本的生活習慣の確立への取り組みを。

答弁↓子どもの頃から取り組みが重要であり、人づくりの基盤である。

質問↓親子の家庭菜園・プランター菜園の取り組みが大切と考えるが。

答弁↓非常に良い取り組みと考えている。

# 「しあわせ大国つやま」の実現に向けて

津山新星会議

吉田 耕造



質問↓島根県、隠岐諸島の海士町（あまちょう）は、人口二千五百人の離島の町。離島のハンディと財政難のダブルパンチにあえぎながら、町長の強力なリーダーシップの下、徹底した行革と

一点突破型の産業振興策を同時に行い、全国の注目を浴びている。リーダー自身が身を削らない改革は支持されない、と特別職・職員の給料カット、議員・教育委員・区長等報酬カット。この財源を産業振興と定住施策にあて、その結果、百六十七人のイターン者が海士町に定住した。海士町の施策について、参考にすべき点はないか。

答弁↓危機意識を共有し、外からの視点発想を活用し、生き残りをかけて大胆な行革と産業振興に取り組み、島ブランドをヒットさせたことは、参考になる。